

平成二十四年度定期総会会長開会挨拶

皆さん、こんにちは。岡山歴史研究会会会長を務めさせていただいております天野です。本日はゴールデンウィークの期間中で、色々なご予定がおありにも関わらず、会場一杯の多くの方々にご参加いただきまして誠にありがとうございます。御座います。

お蔭をもちまして、岡山歴史研究会は一昨年十月の発足以来、会員も増加の一途をたどり、現在は約二百四十名となっております。

本日は、東京の全国歴史研究会本部運営委員として徳島歴史研究会副会長の竹本弘子様、そしてお隣の兵庫歴史研究会会長の柴谷武爾様がそれぞれ大変ご多忙なところをご出席いただき、総会に華を添えていただいております。心からお礼申し上げます。

昨年度は、総会では東日本大震災直後ということで、皆様から多くの義捐金をご協力いただき、また、秋の全国大会にも大変なご尽力をいただき、大成功となり、岡山歴史研究会の地歩を固めた画期的な年となりました。更に発展するためにも本日は活動支援募金をお願いしておりますので、ご協力をお願いする次第でございます。

これからは防災の観点も加えて、各地で歴史を活かしたまちづくりが重要な課題になってくると思います。岡山歴史研究会もこうした課題をも踏まえて、さまざまな分野で歴史を掘り起こし、学習することの重要性を改めて認識する必要があるかと思えます。

本日は、議案審議に続き、記念講演、パネルディスカッションを予定してします。歴史の面白さ、歴史の重みを汲み取っていただき、感じ取っていただければ幸いです。尚、記念講演とパネルディスカッションにつきましては、山陽新聞社様からご後援いただいております。誠にありがとうございます。

今後とも皆様方の絶大なるご理解、ご支援をお願いいたしまして、開会にあたっての会長の挨拶とさせていただきます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。